

【上映スケジュール】

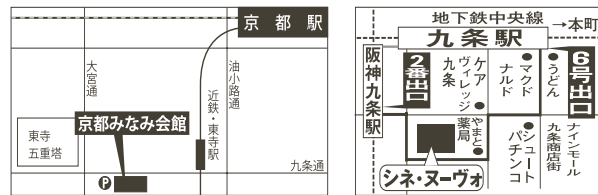
会場	京都みなみ会館	Kyoto Minami-Kaikan
11/14 [土]	12:15 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
	14:10 5月の後 Après mai (122分) *上映後アフタートーク	
	17:15 夏時間の庭 L'heure d'été (102分)	
11/15 [日]	12:15 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	
	15:30 クリーン Clean (111分)	
	17:40 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
11/16 [月]	14:30 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
	16:45 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
11/17 [火]	14:30 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	
	17:45 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
11/18 [水]	14:30 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
	16:20 クリーン Clean (111分)	
11/19 [木]	14:30 イルマ・ヴェップ Irma Vep (98分) *英語字幕のみ	
	16:30 5月の後 Après mai (122分)	
11/20 [金]	14:30 5月の後 Après mai (122分)	
	16:50 NOISE NOISE (115分)	

入場料金 一般:1300円、シニア1100円、学生/みなみ会員/クラブ・フランス会  
員800円 \*11/14 [土]「5月の後」上映後、北小路隆志さんによるアフタートーク

【会場】

京都みなみ会館 Kyoto Minami-Kaikan  
九条大宮/近鉄東寺駅 (JR京都駅よりひと駅) より西へ150m (無料駐車場あります)  
☎075-661-3993 🌐http://kyoto-minamikaikan.jp

シネ・ヌーヴォー CINÉ NOUVEAU  
地下鉄中央線「九条駅」/阪神なんば線「九条駅」より徒歩3分  
☎06-6582-1416 🌐http://cinenouveau.com/



【お問い合わせ】

アンスティチュ・フランセ関西-京都  
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8  
☎075-761-2105 ✉kansai@institutfrancais.jp

アンスティチュ・フランセ関西-大阪  
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-2-11 阪急産業南森町ビル9F  
☎06-6358-7391 ✉kansai.osaka@institutfrancais.jp

オリヴィエ・アサイヤス特集——『アクトレス 女たちの舞台』公開特別企画  
主催 アンスティチュ・フランセ日本 | 助成 アンスティチュ・フランセ パリ本部 | 映画プログラム  
オフィシャル・パートナー 笹川日仏財団/アニエスベー | フィルム提供 クレスト・インター  
ナショナル、コムストック・グループ、MK2、パテ・インターナショナル、東北新社、ワイルドバ  
ンチ、オリヴィエ・アサイヤス、シルヴィ・バルテ、boid、キングレコード  
Rétrospective Olivier Assayas  
Organisé par l'Institut français du Japon; Avec le soutien de : Institut français, Fondation Sasa-  
kawa, agnès b.; Merci à : Crest International, Comstock Group, MK2, Pathé international, To-  
hokushinsha, Wild Bunch, Olivier Assayas, Sylvie Barthet, boid, King records

Calendrier

会場	シネ・ヌーヴォー	Ciné Nouveau
11/21 [土]	12:25 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
	14:25 夏時間の庭 L'heure d'été (102分)	
11/22 [日]	12:25 クリーン Clean (111分)	
	14:40 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
11/23 [月]	12:25 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
	14:20 クリーン Clean (111分)	
11/24 [火]	12:25 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
	14:45 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
11/25 [水]	12:25 冷たい水 L'Eau froide (92分)	
	14:20 5月の後 Après mai (122分)	
11/26 [木]	12:25 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	
11/27 [金]	12:25 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
	14:15 5月の後 Après mai (122分)	
11/28 [土]	16:00 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	
11/29 [日]	16:00 5月の後 Après mai (122分)	
	18:15 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
11/30 [月]	16:00 NOISE NOISE (115分)	
	18:10 5月の後 Après mai (122分)	
12/1 [火]	16:00 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分) *上映後アフタートーク	
12/2 [水]	15:35 DEMONLOVER デーモンラヴァー DEMONLOVER (120分)	
	18:00 NOISE NOISE (115分)	
12/3 [木]	16:40 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	
12/4 [金]	16:40 感傷的な運命 Les Destinées sentimentales (180分)	

入場料金 一般:1300円、シニア1100円、学生/シネ・ヌーヴォー会員/クラブ・フ  
ランス会員800円 チケット販売 期間中連日10:30より販売 (当日券のみ、前売  
り券の販売はございません/整理番号順でのご入場・全席自由席) \*12/1 [火]  
「DEMONLOVER デーモンラヴァー」上映後、坂本安美さんによるアフタートーク

オリヴィエ・アサイヤス監督最新作  
**アクトレス**  
~女たちの舞台~

10/24 (土)より、シネ・リーブル梅田、シネマート心斎橋公開  
10/31 (土)より、京都シネマ公開



# RÉTROSPECTIVE OLIVIER ASSAYAS

Projet spécial à l'occasion de la sortie de son nouveau film « *Sils Maria* »

Du **14 novembre** au **4 décembre**

オリヴィエ・アサイヤス特集

『アクトレス 女たちの舞台』公開特別企画

2015年11月14日 [土] → 12月4日 [金]

特別ゲスト

北小路隆志 映画評論家  
坂本安美 アンスティチュ・フランセ日本  
映画プログラム主任

Invités spéciaux

Takashi Kitakouji critique  
Abi Sakamoto responsable cinéma Institut français du Japon

京都みなみ会館 Kyoto Minami-Kaikan

シネ・ヌーヴォー Ciné Nouveau



INSTITUT FRANÇAIS  
アンスティチュ・フランセ関西  
JAPON - KANSAI



# オリヴィエ・アサイヤス特集

RÉTROSPECTIVE OLIVIER ASSAYAS

現代フランスの代表的な映画作家オリヴィエ・アサイヤス監督の最新作。また最高傑作との呼び名高い『アクトレス 女たちの舞台』が、今年10月24日より日本全国順次公開されます。この絶好の機会を捉え、日本では滅多にスクリーンで見ることができないアサイヤス作品を特集上映します。今回特別ゲストとして北小路隆志氏、坂本安美氏によるアフタートークも開催します。

「作品群 l'œuvre」、それこそが存続するものだ。後世に残っていくというような素朴な意味で言っているのではなく、化学実験で変化する基質について述べるような意味で。その作品の連なりによって見えてくる作り手の顔、その複雑さや、矛盾、そして意識的かどうかに関わらず、彼が探求することの中に見えてくるその人間性。それは時代を経て見えてくる画家の姿と同じである。作品から作品へと、浮き沈みや、堂々巡りもあれば、快拳もあるアーティストの道程とは人生そのものだ。僕にとって映画とはまさにそれだ、つまり映画作家と、彼の作品から見えてくる世界との関係だ。——オリヴィエ・アサイヤス

## 【上映作品】

## Programme

### 冷たい水 *L'Eau froide*

【フランス/1994年/92分/35<sup>mm</sup>/カラー/日本語字幕付】  
出演：ヴィルジニー・ルドワイヤン、シブリアン・フーケ、ラズロ・サボ、ジャン＝ピエール・サルサン



1972年、パリ近郊の同じ高校に通うジルとクリスティーヌは、それぞれ学校や親とうまく行かずにいる。森の廃墟で火が焚かれ、ドラッグを吸い、音楽とともに盛り上がる仲間たちの中で、クリスティーヌは旅に出ようとジルに打ち明ける……。後半の森でのパーティーのシーンは、ジャンヌ・ジャップリン、CCR、ニコ、ポプ・ディラン、ロキシー・ミュージックなど当時の曲によって構成されている。

「この映画が持つであろう意味についての直感がひらめいたのは、おそらく、思い出を脳裏に駆け巡らせながら、自分の感情を捨て、登場人物たちによって我を忘れた時でしょう。最初のページに、私はほとんど考えることなく、『冷たい水』というタイトルを走り書きしていました」——オリヴィエ・アサイヤス

### イルマ・ヴェップ *Irma Vep*

【フランス/1996年/98分/デジタルリマスター版/カラー/英語字幕付】  
出演：マギー・チャン、ジャン＝ピエール・レオー、ナタリー・リシャル



往年の犯罪活劇映画のリメイクの主演女優に起用された香港スター女優マギー・チャンと、彼女を取り巻く製作スタッフたちが織りなす人間模様を、鮮烈な感覚で綴った一編。「イルマ・ヴェップ (Irma Vep)」とは、ルイ・フィヤード監督の連続活劇『吸血ギャング団』(1912)で活躍する女盗賊の名前(同作の原題『Les vampires』の綴り変え)で、オリヅナルでは伝説的な女優ミュジドラが演じた。映画批評家時代から香港映画の大ファンであったオリヴィエ・アサイヤスは、マギー・チャンと出会い、この作品を企画した。

「マギーは、物語の中のマギーと自分を重ね合わせたいと望み、自分自身をこの映画の中のシチュエーションに置き、本能的にその状況に応じることを望んだ。自分の役が作り上げられていくにしたがって、自分自身に驚くこと、驚かされることを受け入れていった」——オリヴィエ・アサイヤス

### 感傷的な運命

#### *Les Destinées sentimentales*

【スイス・フランス/2000年/180分/35<sup>mm</sup>/カラー/日本語字幕付】  
出演：シャルル・ベルラン、エマニュエル・ベアール、イザベル・ユベール



20世紀初頭、陶器作りの名家に生まれながら牧師の道を選んだジャンは、ナタリーとの間に一人娘がいるが、夫婦仲が上手くいかず、離婚する。ジャンは舞踏会で20歳の娘、ポリヌと出会う。周囲の目に逆らい、彼らは運命的に結ばれ、ジャンは家業の陶器工場の経営を引き継ぐ。第一次世界大戦の傷が癒えないながら、世界はいやがおうにも変化し、価値観も変わっていくが、そこには変わらないものもあった……。原作は20世紀初頭のフランス人作家ジャック・シャルドンの同名小説。

「私の心を常に揺さぶってきたのは、時の移ろい、その中で人間関係がどのように生まれ、壊れるのか、そしてどのように世界が変化していくのか、そしてそこにいる者たちがどのように変化し、物事が消滅していくのかということだ。それがもっとも深く私の心を感動させることであり、この小説の中にほとんど思いがけず、理想的な、完璧なる方法で見出すことができた」——オリヴィエ・アサイヤス

### DEMONLOVER デモンラヴァー

【フランス/2002年/120分/35<sup>mm</sup>/日本語字幕付】  
音楽：ソニック・ユース 出演：コニー・ニールセン、シャルル・ベルラン、クロエ・セヴィニー、大森南朋



### ノイズ *Noise*

【フランス/2003年/115分/DVD/カラー/日本語字幕付】  
出演：キム・ゴードン/サーストン・ムーア/ジム・オルーク/ジャンヌ・バリバル



### クリーン *Clean*

【フランス/2004年/110分/35<sup>mm</sup>/カラー/日本語字幕付】  
出演：マギー・チャン、ベアトリス・ダル、ジャンヌ・バリバル、ニック・ノルティ



### 夏時間の庭 *L'Heure d'été*

【フランス/2008年/120分/35<sup>mm</sup>/カラー/日本語字幕付】  
出演：ジュリエット・ピノシュ、シャルル・ベルリング、エディット・スコブ、ジェレミー・レニエ



### 5月の後 *Après mai*

【フランス/2012年/122分/デジタル/カラー/日本語字幕付】  
出演：クレモン・メタイエ、ローラ・クレトン、フェリックス・アルマン



美しい女性スパイのディアヌが、国際企業ヴァルフ・グループにヴァーチャルに侵入し、彼らの競争相手「デモンラヴァー」との交渉を妨害しようとする。ヴァルフ・グループは、新しいタイプの漫画と3Dポルノ・アニメを製作している日本の会社「東京アニメ」の買収について交渉を進めている。知りすぎたディアヌに危険が迫る……。ソニック・ユースがオリジナル・ミュージックを手掛けている。

「僕にとって映画を作ることは、水の中に身を投じること、目の前のリスクを冒すことだ。映画におけるジャクソン・ボラック流の“アクション・ペインティング”的側面が好きだ」——オリヴィエ・アサイヤス

2005年6月、サン＝プリューのアート・ロック・フェスティバルが高名い「白紙委任状」<sup>カルト・フランシュ</sup>をオリヴィエ・アサイヤスに託した。『デモンラヴァー』のサウンド・トラックを制作したソニック・ユースは、映像からインスパイアされた3つの並行するプロジェクトを担当し、ジム・オルークは『ドア』という映像作品を上映し、その周囲に音響をライブで築き上げている。その他、アフェル・ボクウムによるマリのブルースや、マリー・モディアノが全身で表現するメランコリーが交錯し、メトリックのロックなエネルギーが弾ける。パスカール・ランペールとニューヨークの女優ケイト・モランによる「愛に満ちた」朗読パフォーマンスにジャンヌ・バリバルとロドルフ・ビュルジュ、そしてウード奏者アラとの即興に満ちた対話。普段は見ることができない彼らの音楽への実験的なアプローチがここに全開する。

エミリーはロック歌手の夫とモテルを転々としているが、ある晩、エミリーがモテルに戻ると、冷たくなった夫の姿があった。夫の薬物中毒の死に責任があるとして刑務所で数ヶ月服役した後、エミリーは夫の実家に預けていた息子を取り戻そうとするが、義父母はそれを許そうとしない。息子を取り戻すために、エミリーは自分の人生をやり直さなければならない……。主演のマギー・チャンは、本作品で2004年カンヌ映画祭最優秀女優を受賞。

「今日の女性性、つまり「現代的な」女性性という問いが私を虜にする。女性たちは自らの役割を再発明せねばならない。現代世界に彼女たちが占める場所とは、彼女たちがごく最近自らの手で勝ち取った場所に他ならない。今日変容しているのは、世界というよりアイデンティティの方だ。アイデンティティこそが世界の構造に、世界のアルカイズムと対峙している。そこに関わるのは自己の探求ばかりではない。女性という観念そのものの探求なんだ」——オリヴィエ・アサイヤス

母エネヌの誕生日を祝うため、画家である大叔父ポールのアトリエだった家に帰って来た3人の子供たち。陽光溢れる夏の庭での食事。楽しい時間にも関わらず、母はしきりに美術品の行く末を気にかけていた。それから1年後、エレーヌは静かにこの世を去る。フランスのオルセー美術館の設立20周年を記念して作られた三世代に渡る家族の物語。

「グローバリゼーション化された文化とそれが生み出す新しい語りを扱う映画を3本撮った後、再び“フランス映画”を作りたいと思った。『夏時間の庭』は、謙虚な意味で、偉大なジャン・ルノワールへのオマージュだ」——オリヴィエ・アサイヤス (OUTSIDE IN TOKYO)

70年代初頭、パリ。高校生のジルは政治闘争の波にとらわれていると同時に創作活動にも没頭している。恋の出会い、芸術的な発見をしながら、イタリア、そしてロンドンへと旅するジルとその仲間たちにも、波乱に満ちた時代の中で自分の場所を選択すべき時がくる。やはり自伝的作品である『冷たい水』の続編的作品。本作に先立って書かれた自伝的エッセー『5月の後の青春』の邦訳(彦江智弘訳、boid)も刊行されている。

「急ぎ足で通り過ぎながらも、私は、青春を送ったあの時代に、ポエジーのようなものを感じていました。あまり知られていないこの時代について、その時に感じたことによって、いつかもっと豊かな映画を作れるのではないかと考えていました」

——オリヴィエ・アサイヤス